
シヨーン・コネリー似外国人の行動

高橋さくら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

シヨーン・コネリー似外国人の行動

【Nコード】

N8993J

【作者名】

高橋さくら

【あらすじ】

先日、駅のホームで見かけたシヨーン・コネリー似外国人について綴ってみました。

いつものように、気軽にさくっと読んじゃってください。

現在、通勤にかなり時間がかかる。電車に乗っている時間がとにか
く長い。なので、帰りはわざわざ遠回りし、始発駅から電車に乗り、
座って帰るようにしている。

私のように座って帰りたい人は、電車を一本見送り、ホームに列を
作って次の電車がくるのを待つ。私のデータだと、5列目までがほ
ぼ確実に座ることが出来、6列目は90%の確率で座ることが出来
る。

では、座れないのはどういう場合か？

乗客の中に稀にいる「座れなくてもまあ、いいや君」が不幸にも前
列にいた場合だ。

「まあ、いいや君（何故か男性に多い）」は迅速に席へと向かわず、
のっそりのっそり電車に乗る。目の前の人がかうだとスムーズに席
に向かえなくなる。気がつくとも席は全部埋まっている。「わざわざ
遠回り」が徒労に終わる瞬間である。

先日、会社を出るのが遅くなり、6列目に並ぶ羽目に。他の列も5
列目まで人が並んでいる。

ふと前に並んでいる人を見るとなんと外国人だった。（白人男性・
50歳代・シヨン・コネリー似）

「うーん」と思った。果たして彼の祖国では「電車を一本見送っ
て席を確保する」という習慣はあるのだろうか。

もしなかったとしたら彼は「まあ、いいや君」である可能性が高い。

そんな憶測がちらりと浮かんだが、それ以上にシヨーン・コネリー似・外国人がどういう行動に出るのが気になって私はそのまま彼の後ろに並ぶことにした。

電車がすべりこんできて、ドアが開いた。

どうする？シヨーン・コネリー！！

私は見た。

シヨーン・コネリーが恐ろしく素早い動きで席を確保する様を。彼が素早く動いてくれたので私も席を確保する事が出来た。

バリバリ、ジャパン・ルールにのっかってるうううー！！
いいぞ！！シヨーン・コネリー。

……そんなわけで、久々にいいもん(?)を見た私である。(笑)

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8993j/>

シヨン・コネリー似外国人の行動

2010年10月19日00時46分発行